

学校だより

9月号



〒六三九-0273 奈良県葛城市染野三二番地
発行者 當麻小学校 校長 岡島 眞寿美
電話 0745-481-059
FAX 0745-481-7124
発行日 令和八年九月一日(火)

校長 岡島 眞寿美

「やってみる！」から始まる二学期。一人一人の一步を大切に、
二学期が始まり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。
夏休みの間に、家庭や地域でさまざまな経験をし、一回り成長した子どもたちの姿をうれしく思います。

二学期は、運動会をはじめ、校外学習やさまざまな学習など、
一人一人が力を発揮する機会がたくさんあります。友達と協力したり、自分の考えを伝えたり、これまでできなかったことに挑戦したりする中で、子どもたちの「やってみよう」「やってみよう」という気持ちを大切に育てていきたいと思っています。

本校では、「自分から先にあいさつ・しっかり聴く・やってみるを大切に一人一人が活躍」を大切な合言葉にしています。「やってみよう」というのは、必ずしも大きなことに挑戦することではありません。困っている友達に、「どうしたの？」と声をかけてみる。少し苦手なことにも、「まずはやってみよう」と取り組んでみる。そんな小さな一歩の積み重ねが、自分自身の成長につながっていくのだと思います。

二学期には、子どもたちが「やってみよう」機会がたくさんあります。その一つが、「たいまつプロジェクト」です。子どもたちが学校や地域をよりよくするために、自分たちにできることを考え、行動する取組です。例えば、「當麻読書チャレンジ一冊」では、本との出会いを楽しみながら、みんなで読書の輪を広げていきます。一冊の本との出会いが、新しい世界を知るきっかけになるかもしれません。また、「愛校作業 ピカピカ大作戦」では、自分たちが過ごす学校を保護者や地域の皆様の協力のもと、自分たちの手できれいにすることで、学校を大切にすることが、みんなのために進んで行動する心を育てていきます。

さらに、二学期の大きな行事である運動会や校外学習でも、子どもたちの「やってみよう」がたくさん見られることを楽しみにしています。友達と力を合わせることで、自分の役割を果たすこと、初めてのことに挑戦することなど、一つ一つの経験が子どもたちの成長につながります。もちろん、やってみなければうまくいかないこともあるでしょう。しかし、失敗したからこそ気付くことや、次に生かせることがあります。結果だけでなく、「やってみよう」「考えたこと」「工夫したこと」を大切にしながら、子どもたちの挑戦を支えていきたいと思っています。

子どもたちの「やってみよう」という思いを大切にし、一人一人の挑戦を支えていくためには、保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りとご支援が大きな力となります。二学期も、学校・家庭・地域がつながり、子どもたちの「やってみよう！」と一緒に応援していきたいと思っています。保護者の皆様、地域の皆様には、二学期も変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

保護者の皆さまにお願い

- ・児童の登下校時は、大変危ないため校門周辺に車を停めないようご協力よろしくお願いいたします。
- ・本校では、リサイクル活動の一環として、窓付き封筒等を回収して資源にリサイクルする活動を行っています。職員室前に、回収箱を設置していますので、お子様を通じて回収にご協力ください。(年間を通して回収します。) どうぞよろしくお願いいたします。



夏休み作品交流会

子どもたちが夏休み中に工夫を凝らして制作した作品を持ち寄り、作品交流会を行いました。一人一人の創造性あふれる素敵な作品が並びました。子どもたちは、友達の作品をじっくり鑑賞しながら、工夫されているところや素敵だと思ったところを伝え合い、楽しい交流の時間となりました。



8月27日(木) 不審者対応訓練

訓練では、不審者が校内に侵入したことを知らせる合図を聞いた後、子どもたちは先生の指示をしっかりと聞き、素早く教室の鍵を閉めました。そして、机などを使ってバリケードを作り、電気を消して静かに身を隠すことができました。

地震や火災と同じように、不審者への対応も「まさか」という時に備えておくことが大切です。いざという時に自分の命を守るためには、日頃から訓練を真剣に行い、落ち着いて行動する力を身に付けておく必要があります。

今回の訓練を通して、子どもたちは自分の命を守るために必要な行動について学びました。これからも、さまざまな場面を想定した安全教育や訓練を行い、安心・安全な学校づくりに努めていきます。

